

「病院らしくない病院」をめざして

当院も開院してからまもなく一年半を迎えます。慌ただしい一年半でしたが、ようやくこのような情報誌を創刊することができるようになりました。創刊号ということもあり、当院を開院するにあたって私が目指した病院について少しお話ししたいと思います。

当院は主として回復期のリハビリテーションサービスの提供を担う病院ですが、三年半の準備期間をかけて一から新しい病院を立ち上げるにあたり、私が最も重要だと考えたのは「病院の匂いを消す」ということでした。

「ここは病院である」という雰囲気をつくってしまうと、患者さま自身が「自

分は病人である」という気持ちになってしまいます。回復期リハビリテーション病棟の役割は「急性期病院から出来るだけ早く患者さまをお引き受けし、できるだけ良い状態で自宅にお返しする」ことにあります。このように考えると、リハビリ病院は「病人」を「少し障害をもった普通の人」に変わっていただくプロセスを担うことに他なりません。ですから早く病人の気持ちが消えるよう病院の匂いを消したかったのです。視覚的にも病院らしくない病院をめざし、患者さまの病室では医療機器ではなく温かみのある木製の家具を使い、観葉植物や絵画などの装飾品を随所に配置するなどを試みました。

また、こういった目に見える部分以上に重視したのが、病院の象徴ともいえる白衣を全廃し、全員が同じユニホームを着用することとしたことです。さらに、「〇〇先生」という呼び方をやめ、全員「さん」づけとしました。「さん」づけに踏み切ったのは、病院くささを消す以外に、スタッフのチーム意識を向上させる目的もありました。すなわち、単に建物や外観だけかわっても、働いている人間が変わらなければ、雰囲気は変わりません。まずスタッフの側から病院らしい雰囲気を消すことが、患者さまの自立につながっていくと考えたのです。

「病院らしくない病院」というコン



初台リハビリテーション病院
院長 石川 誠

セプトは、病棟の環境にも反映させました。病棟には個室フロアーと個室+4人室フロアーがありますが、いずれもスタッフステーションを中心に食堂を兼ねたデイルームとバントリー(病棟配膳)、浴室、そして部屋ごとにトイレを配置しました。当院では、「病棟は患者さまにとって生活の場である」という考えに基づき、病棟生活中心のリハビリ、自宅に戻ったときにすぐに役立つリハビリを重視しています。入院中は毎日寝巻を着替えて着替えることから1日の生活が始まります。食事は食堂で椅子に座って、排泄はあくまでもトイレで、入浴も隔日で浴槽に入っていただきます。また専門的なリハビリの治療(訓練)は、毎日休みなく提供いたします。このために当院では制度で規定された人員を大幅に上回った配置としています。

このように環境と人員の両面から、患者さまが1日も早く輝いた人生を送れるようお手伝いさせていただくことを当院の使命と考えております。至らない点も多いかと存じますが、精一杯のサービス提供に努めますのでよろしくお願い申し上げます。



▲初台リハビリテーション病院

各部紹介

PART
1

看護部長
古屋 嘉栄子



看護部

看護部では、看護師92名・ケアワーカー30名の総勢122名(2003年11月現在)、患者さまお一人お一人に対して実質1.9人の割合で看護要員を配置しております。活気あふれる若いスタッフが、病院の5つの理念のもと24時間365日、患者さまの看護ケアと環境作りに励んでおります。

当院には「すべてのケアはケアスタッフで行い、家族に依存しない」からはじまる基本ケアの10原則があり、看

護スタッフのみならず患者さまのケアにかかわる全スタッフがその原則に沿いながら、具体的にケアを実践しています。

看護スタッフは洗面・食事・排泄・更衣・睡眠・入浴ほか生活に関わるケアを、患者さまのこれまで生活なさってきた様式に沿いながら、ご自身が出来るように自立を目指したお手伝いをしています。

看護の仕事はサービス業であり、サービスの品質はお客様とスタッフの出会った瞬間に決まるといわれています。

1人の患者さまを前にして、スタッフはその患者さまに必要な看護ケア(看護計画をもとにしている)を判断し、適切にサービスします。と同時に、当の患者さまはその看護ケアサービスを受ける、ということになります。

このように看護サービスの質を決めるのは看護スタッフ1人1人でありますが、他部門のスタッフも同様に1人1人が病院の医療サービスの品質を決定する代表者なのです。当院は若い病院です。スタッフもみな若い人たちです。

これから初台リハビリテーション病院のサービスの質が問われるのだと考えています。そのために、当病院には教育研修システムが準備されております。若いスタッフが患者さまのご期待にそえるよう、この若い代表者たちが代表者たりえるよう、今後さらに研鑽をつみ適切な看護サービスが提供できるように、知識・技術・態度の習熟をめざして努力していきたいと考えています。



納涼祭を終えて...

好評をいただきました昨年の納涼祭に引き続き、今年も8月17日(日)に初台リハビリテーション病院の2大イベントである納涼祭が開催されました。参加人数は昨年の350名から今年は倍の705名と、たくさんの入院・外来患者さまとご家族、地域住民の皆さまのご参加をいただきました。



会場である当院の1・2階のどこへ行っても大勢の人で賑わい、とにかくすごい熱気でした。我々職員一同も参加者の皆さまに昨年以上に楽しんでいただこうと、気合を入れて臨みました。平均年齢24歳の美女軍団によるフラダンス、よさこい・炭鉱節・花笠音頭・東京音頭といった郷土色豊かな盆踊り、男らしさを追求した日体大伝統の体操「えっさっさ」等のアトラクションの他、緑日の露店を再現した射的コーナー、ヨーヨー釣り、綿菓子、かき氷等々、イベントの充実を図りました。

参加された患者さま・ご家族から「楽しかった」「来年も呼んでください」等のお声をいただき、関係者一同大変うれしく思っております。そして何より、

ボランティアをはじめ患者さまのご家族の皆さまにご協力をいただき、あれだけ大勢の人が行き交うなか、事故なく無事に納涼祭を終えることができ、ほんと胸をなでおろしております。

いろいろな反省点もありましたが、患者さまも職員も楽しめ、共有できるたくさんの思い出を作ることができ、本当に良かったと思います。今後も年末の餅つき大会とともに初台リハビリテーション病院の2大イベントとして納涼祭が愛されつづけることを願ってやみません。(お)



音楽のひととき

開院以来毎週土曜日に1階ラウンジで催されている「音楽のひととき」。これまでにピアノ・バイオリン・チェロなどによるクラシック音楽や、男性コーラス、琴の演奏も行われてきました。演奏の合間には懐かしい童話や文部省唱歌を患者さまやご家族と一緒に歌うコーナーもあり、和やかなひとときがながれます。

元気になられた患者さまが歌や演奏を披露して下さることもあります。今後はもっと音楽のジャンルを広げて楽しいひとときを作っていきたいと考えています。リクエスト曲など、ありましたらスタッフにお声をかけてください。



毎週土曜日の午後に
開催しています!



訪問看護ステーション 初台が、開設しました。

「ご自宅で生き生きと安心して生活できるよう支援」することを目標としてサービスを提供しています。

訪問看護ステーション初台 所長 安田 佐知子

初台リハビリテーション病院の北隣ミニストップの2階に構想1年、準備期間わずか4ヶ月で、2003年5月1日より、初台リハビリテーション病院と同法人（輝生会）で訪問看護ステーション初台を開設いたしました。私たちは、利用者さんのお宅にうかがい、ケアや看護、リハビリテーションのサービスを提供いたしております。

ご依頼があればどこにでもうかがいたいところではありますが、移動に時間がかかりすぎると、肝心のサービスが提供できなくなってしまうため、ス

テーションを中心にして4～5キロ程度の範囲の方を対象とさせていただいております（渋谷区・新宿区・中野区・杉並区・世田谷区・目黒区と港区の一部、エリア外の方はごめんなさい）。

自転車・バイクで雨にも負けず、風にも負けず、交通事故を起こさないよう十分注意して東京7区を駆け巡り、皆さんに希望とガッツをお届けしたいと思います。まだまだ、開設したてではありますが、とにかくはりきっています。お気軽にご相談下さい。



青空に向かって大きく元気に開く「ひまわり」を私たちのシンボルにしました。希望とガッツを現していると思いませんか？

愉快な頼もしい？ スタッフです



近隣のちよきになるお店

このコーナーでは病院スタッフが「気になる近隣のお店」を紹介するコーナーです。

先日、患者さまと一緒に外出訓練に行った喫茶店を紹介いたします。場所は東京オペラシティビルの53階、お店の名前は「サバティーニ」といいます。おすすめは「ケーキセット」(800円程度)です。常時6~8種類置いてありますので何を食べるか迷ってしまうかもしれません。(ちなみに私は甘いものが苦手なので食べませんでした)がおいしいとの評判です)

また、53階と言う事で都内の景色が素晴らしいです。景色の綺麗なところで、優雅にケーキをいただくのもたまには良いのではないのでしょうか? 院内の「きらら」だけでなく、たまにはご家族やご友人と外出を兼ねてオペラ



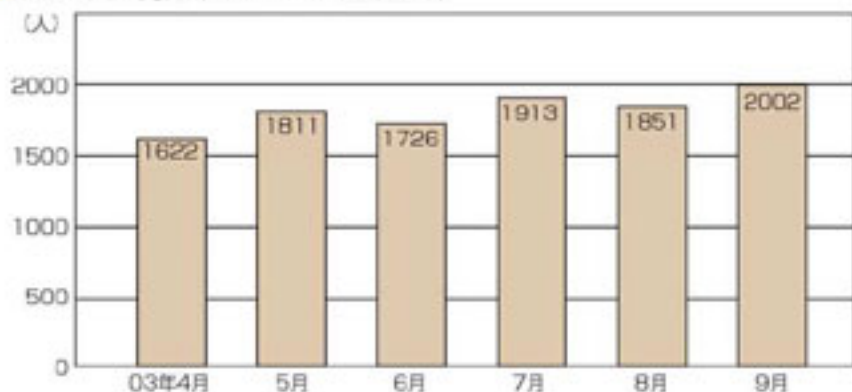
▲定例からの眺望 (注)写真は仮想です



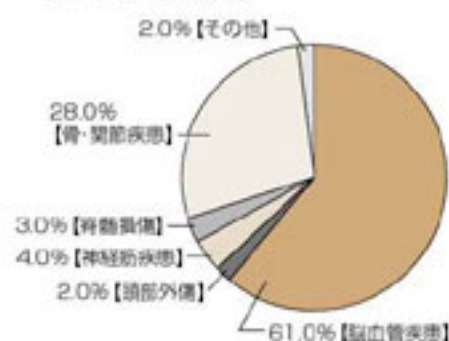
シティビルまで足を運んでみてはいかがでしょうか? また、違う発見があるかもしれませんよ。オペラシティビルの中は、他にも色々なお店がテナントとして入っております。また、スロープ・エレベーターが完備されており車椅子でも充分ビルに入る事は可能です。

診療統計……………[外来患者さまに係るデータ編]

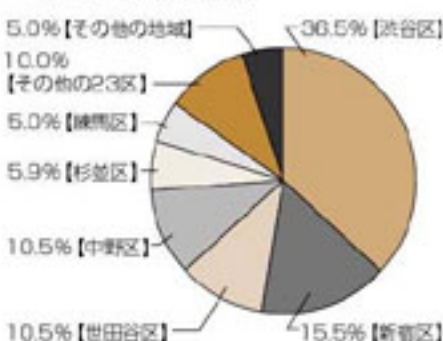
■外来患者数内訳 (H15年4~9月統計)



■疾患内訳 (H15年2月統計)



■居住地別受診者数/住所地 (H15年2月統計)



誌の募集

初台リハビリテーション病院と皆様をつなぐ、このコミュニケーション情報誌ですが、残念ながらまだ名前がありません。

そこで皆様に、この情報誌に素敵な名前を付けていただきたいと思います。採用された方には、豪華(?)記念品をプレゼント!!!

どしどし応募ください。お待ちしております!!!

●応募対象者

初台リハにゆかりのある方ならどなたでも

●応募方法

専用応募用紙に記載の上、1・2階受付および各病棟のクラークにお渡しください。

●応募締切

2003年12月31日

●発表

次号にて

この情報誌の名付け親になってください!

編集後記

- 寝れました。弱音を吐きつつ、すぐ次号の準備が……。 (う)
- 初台周辺の気になるお店を探索していきますね。 (え)
- 色々大変でしたが、頑張ってみました。 (つ)
- 創刊準備いかがだったでしょうか? 今後はカラフル&企画盛りだくさんで創刊します。 (ぬ)
- なんだか大変だけど、できあがりました。 (め)
- いろいろな情報を発信できるといいね。 (り)
- これを機に、この辺の美味しいお店をさがしたいです。 (た)
- ありがとう (め) さん。 (じ)
- 次回もがんばります。 (ば)